

6-9 市民てづくりの里

(1) 事業の概要

事業名	市民てづくりの里（現在の施設名は「里山あーと村」）
事業種別	基本計画
事業期間	平成8年度〔基本設計〕～平成12年度
デザイナー	三田 郁雄（みた いくお）
契約者	株式会社ラック計画研究所（東京都杉並区上荻）
主管課	経済局農林整備課、安芸区農林課
事業指定理由	要綱第3条第5号（地区景観の重要な要素になり得るもの） ・比較的まとまった農地と起伏にとんだ山林が一体をなしており、阿戸地区の新たな景観要素となりうる。（なお事業は市民参加を得ながら進めていく。）
デザイナー選定理由	長期的に市民参加を得て、事業の計画づくりや合意形成を行う手法に長け、実績も豊富である。
施設の概要	安芸区阿戸町にある市有林と阿戸の農、自然、歴史、生活文化などの資源を活用して、地域住民と都市住民が交流しながら、市民に豊かな里山体験の場を提供すると同時に、里山を再生し、阿戸町の地域づくりにつながる農林業一体型の市民のてづくりによる里を整備しました。
写真等	  <p>現在は「里山あーと村」として、「里山あーと村運営協議会」により企画・運営されています。 田植え（5月）</p>   <p>第2トイレ 稲刈り（10月）</p>    <p>第2トイレの製作風景 どんと祭り（2月）</p>



森のジャズライブ

今年で10周年になりました。これを記念してグランドピアノを入れ、盛大に開催しました。



野菜の会

1年を通して季節の野菜作りに励んでいます。



野菜の会で育てた白菜等

写真等



そばの会

種にも土にも製粉にもこだわって、栽培とそば打ちを繰り返す、そば好きの会です。



ビオトープ

里山全体がビオトープ空間。

写真は、里山あーと村運営協議会HP等から掲載しています。

(2) 事後評価結果

ア 市民てづくりの里をP & C制度により整備したことに対する事後評価

(ア) P & C事業の選定

P & Cの指定理由	P & Cの指定に対する評価
<p>○地区景観の重要な要素になり得るもの</p> <p>・比較的まとまった農地と起伏にとんだ山林が一体をなしており、阿戸地区の新たな景観要素となりうる。(なお事業は市民参加を得ながら進めていく。)</p>	<p>アンケート回答者の98%は、農業と林業が一体となる整備により、市民てづくりの里が阿戸地区の景観の重要な要素になっていると感じていました。また、「山農一体で良い。」などの具体的な意見もありました。</p> <p>これらのことから市民てづくりの里は、阿戸地区の新たな景観要素として機能していると考えられ、P & Cに指定した目的が達成されていると考えています。</p>

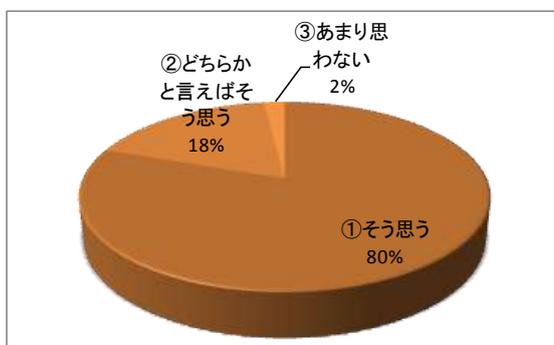
(イ) デザイナーの選定

デザイナーの選定理由	デザイナーの選定に対する評価
<p>長期的に市民参加を得て、事業の計画づくりや合意形成を行う手法に長け、実績も豊富である。</p>	<p>市民てづくりの里は、市民のアイデア等をもとに施設の計画をつくり、イベントなどの活動を通じて施設整備計画の見直しを行いながら活動の場を整備し、市はその支援を行う手法により整備してきました。</p> <p>この手法については、回答者の96%が「良い」又は「どちらかと言えば良い」と感じていました。また、「地域や市民主体で実施することに意義があると思います。」「このような活動の場があり素晴らしいと思います。」という具体的な意見もありました。</p> <p>これらのことから、市民てづくりの里は、デザイナーに期待した市民参加による計画づくりや合意形成を行う手法についての豊富な実績を生かすことができたと考えています。</p>

イ 景観整備等に関する事後評価

(ア) - 1 優れたデザインについて

アンケート 里山あーと村は、地形的な特徴を生かし農業と林業が一体となるような施設整備を行っています。これらの施設は地域の景観の重要な要素となっていますか。



- ・「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…98%
- ・「あまり思わない」…2%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

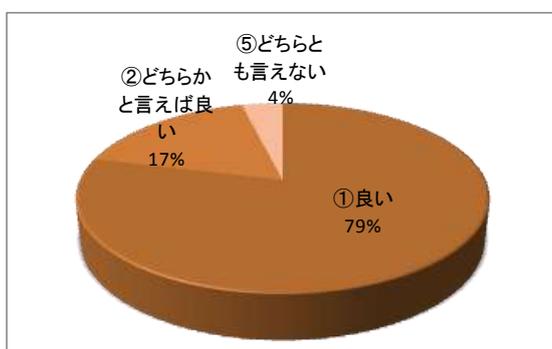
- 山農一体で良い。

【まとめ】

市民てづくりの里は、アンケート回答者の98%が肯定的な評価をしており、地域の景観の重要な要素になっていると考えています。

(7)－2 優れたデザインについて

アンケート 里山あーと村は、市民のアイディア等をもとに施設の計画をつくり、イベントなどの活動を通じて施設整備計画の見直しを行いながら活動の場を整備してきました。こうした地域づくりの手法について、どのように思いますか。



- ・「良い」又は「どちらかと言えば良い」…96%
- ・「どちらとも言えない」…4%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

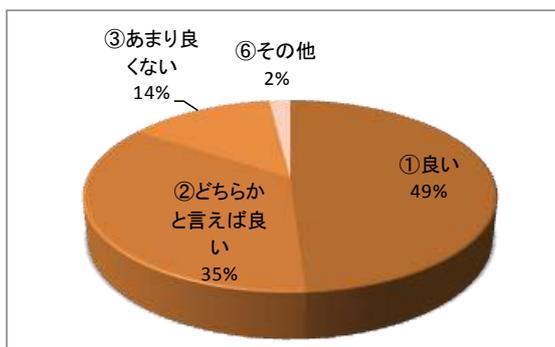
- 地域や市民主体で実施することに意義がある。
- このような活動の場があり素晴らしい。
- 市民参加型／提案型を定着させれば、各自の積極性が出てくる。
- 若干、閉鎖的な気がする。

【まとめ】

市民てづくりの里のように、市民のアイディア等を基に施設の計画をつくり、イベントなどの活動を通じて施設整備計画の見直しを行いながら活動の場を整備していくという手法について、アンケート回答者の96%が肯定的な評価をしていました。

(イ) 施設本来の目的達成について

アンケート 里山あーと村は、森づくりや里づくりなどの事業を展開し、活動しやすい（使いやすい）施設になっていますか。



- ・「良い」又は「どちらかと言えば良い」…84%
- ・「あまり良くない」…14%
- ・「その他」…2%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

- 子供たちが安心して安全に自然に触れ合える機会と、場として大切な機能を持っているように感じています。
- 緑に囲まれて過ごす時間は本当にほっとする憩いの時になって貴重です。
- 豊かな里山ライフを手軽に楽しめてよい場所だと思います
- 農地が狭く全体的にのびのびとした感じが無い。
- 市の管理下であり、全市民が勝手には使用できない。
- 保安林のため活動しにくい。

【まとめ】

アンケート回答者の84%は、里山あーと村は森づくりや里づくりなどの事業を展開し活動しやすいと回答し、「安心して安全に楽しめる」等の意見がありました。一方、そうでないとする回答は14%であり、「農地が狭い」、「保安林のため活動しにくい」といった意見がありました。

(ウ) 建設費の妥当性について

調査 同種の施設と比べて建設費が目的を超えて著しく割高になっていないか。

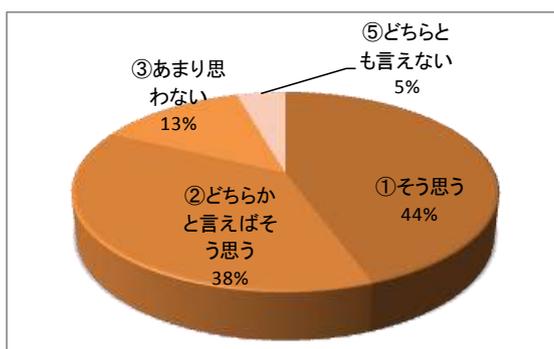
市民てづくりの里（現在は「里山あーと村」）は、市民による里山づくりを支援したもので、建築物等を整備していないため、工事費に関する比較調査は実施していません。

なお、里山づくりの支援に要した費用（業務委託の契約金額）については、次のとおりです。

業務の概要	契約金額	実施年度
アクションプログラムの作成	499 万円	平成 8 年度 (1998 年度)
体験講座の試行・意見収集	350 万円	平成 9 年度 (1999 年度)
マスタープラン案の作成	350 万円	平成 10 年度 (1998 年度)
マスタープランの作成	261 万円	平成 11 年度 (1999 年度)
マスタープランの施行・運営補助	50 万円	平成 12 年度 (2000 年度)
計	1,510 万円	

(エ) - 1 市民の認知について

アンケート 里山あーと村は、地域の皆さんから親しまれていると思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…82%
- ・「あまり思わない」…13%
- ・「どちらとも言えない」…5%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

- 身近に何度でも来てみたい憩いの場所、自然体験のフィールドとして、多くの子供たちに楽しんでほしいと思います。

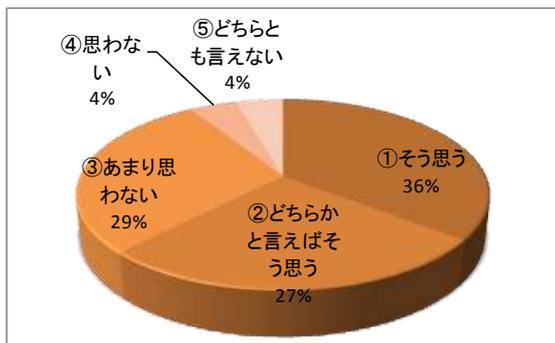
【まとめ】

アンケート回答者の82%は、地域住民に親しまれていると「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しており、親しまれているとは「あまり思わない」と回答した人は13%でした。

このことから、市民てづくりの里は地域住民に親しまれ、認知されていると考えています。

(イ) - 2 市民の認知について

アンケート 里山あーと村は、地域や広島市のシンボルになっていると思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…63%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…33%
- ・「どちらとも言えない」…4%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

- 広島市全体の認知度はまだ低いようだ。

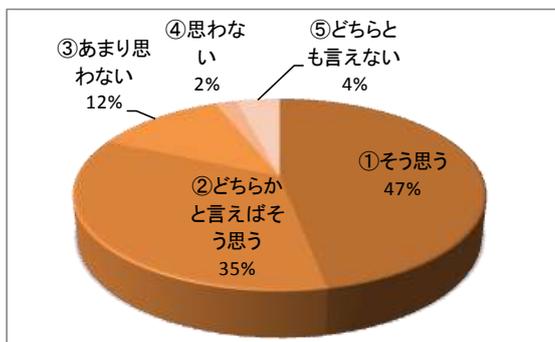
【まとめ】

アンケート回答者の63%は、市民てづくりの里が地域や広島市のシンボルになっていると「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は33%、「どちらとも言えない」が4%でした。

このことから、市民てづくりの里は、地域や広島市のシンボリック的存在になっていると考えています。

(オ) 良好な景観に対する関心の高まりについて

アンケート 里山あーと村での森づくりやイベント開催などがきっかけとなって、地域づくりに対する関心が高まる（高まった）と思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…82%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…14%
- ・「どちらとも言えない」…4%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

- 休日は、森や田畑へ出かけボランティア活動される方が増えているようだ。
- 頑張っていていこうと思います。人が財産であると思います。地域貢献のため頑張れ。

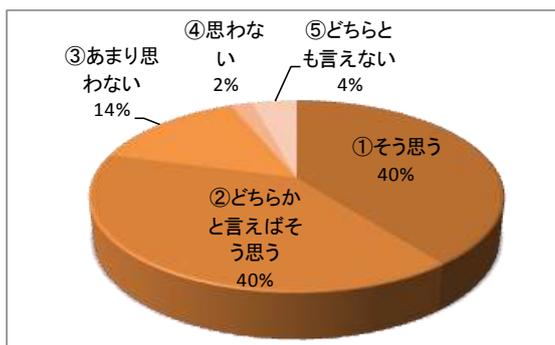
【まとめ】

アンケート回答者の82%は、市民てづくりの里での森づくりやイベント開催等がきっかけとなって、地域づくりに対する地域住民の関心の高まりに寄与したと「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は14%でした。

このことから、市民てづくりの里での森づくりやイベント開催等は、地域づくりに対する地域住民の関心の高まりに寄与したと考えています。

(カ) 市民活動の活性化等の行動の変化について

アンケート 里山あーと村での活動がきっかけとなって、他のまちづくり活動に参加する機会や人が増える（増えた）と思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…80%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…16%
- ・「どちらとも言えない」…4%

この質問についての具体的な意見は、前問と同様です。

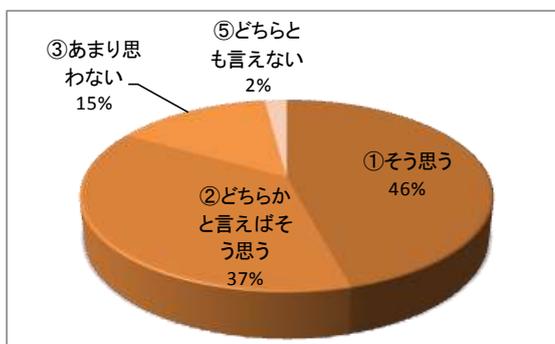
【まとめ】

アンケート回答者の80%は、市民てづくりの里における活動がきっかけとなって他のまちづくり活動に参加する機会や人が増えたと「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は16%、「どちらとも言えない」が4%でした。

このことから、市民てづくりの里における活動は他のまちづくり活動に参加する等の契機として効果があったと考えています。

(キ) 地域の景観形成や美化推進等について

アンケート 里山あーと村での活動（森づくりやイベント開催など）がきっかけとなって、阿戸町の自然環境を生かした地域づくりの意識が高まり、阿戸町の景観や環境が良くなる（良くなった）と思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…83%
- ・「あまり思わない」…15%
- ・「どちらとも言えない」…2%

この質問に関しては、具体的な意見がありませんでした。

【まとめ】

アンケート回答者の83%は、市民てづくりの里での活動がきっかけとなって、阿戸町の自然環境を生かした地域づくりの意識が高まり、阿戸町の景観や環境が良くなる（なった）と「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は15%、「どちらとも言えない」が2%でした。

このことから、は市民てづくりの里での活動は、地域の景観や環境が良くなるための契機として効果があったと考えています。

6-10 宇品内港埋立地区高層複合住宅整備等

(1) 事業の概要

事業名	宇品内港埋立地区高層複合住宅整備等
事業種別	基本計画等
事業期間	平成9年度〔基本計画〕～平成12年度〔マスターアーキテクト制度の運用等〕
デザイナー	藤本 昌也（ふじもと まさや）
契約者	株式会社現代計画研究所（東京都練馬区豊玉北）
主管課	都市計画局地域計画課（現：都市整備局都市整備調整課）
事業指定理由	要綱第3条第3号（歴史的景観や本市の地域資源である河川や海とのかかわりが深いもの。） ・南北の幹線軸・鷹野橋宇品線と、東西軸・広島南道路の交差点に位置しており、ウォーターフロントの導入部にふさわしい魅力ある街並み形成が求められる。
デザイナー選定理由	集合住宅の計画策定の実績が豊富であり、また、実践的にも優れている。
事業の概要	宇品内港地区・宇品西地区のまち（対象地区の面積：約41ha）が、①住んで気持ちの良い緑あふれる街、②ふれあいのある街、③海の玄関口にふさわしい街になるよう目指し、民間建物、市営住宅、街路などの各事業の設計者の協力の下、マスターアーキテクトによるデザインコントロールにより街づくりを行いました。
写真等	 <p>3枚の写真に写っている道路は、都市計画道路 鷹野橋宇品線です。</p>   <p>都市計画道路 鷹野橋宇品線の右側が宇品内港地区で、左側が宇品西地区です。本事業は、この両地区において景観誘導等を行いました。</p>



写真等



市営宇品西住宅

市営宇品西住宅は、
マスターアーキテクト
が直接デザイン指導し
た住宅施設です。



(2) 事後評価結果

ア P & Cの指定及びマスターアーキテクト（デザイナー）の選定に対する事後評価

(ア) P & C事業の指定

P & Cの指定理由	P & Cの指定に対する評価
<p>○歴史的景観や本市の地域資源である河川や海との関わりが深いもの</p> <p>・南北の幹線軸・鷹野橋宇品線と、東西軸・広島南道路の交差点に位置しており、ウォーターフロントの導入部にふさわしい魅力ある街並み形成が求められる。</p>	<p>アンケートの結果、デザインについては回答者の71%が好印象を持っていました。また、「この家はデザインもよく、モダンな家が建ち、街並みがきれい。」「高級地区というイメージ。」などの具体的な意見もありました。</p> <p>このことから宇品内港地区・宇品西地区は、ウォーターフロントの導入部にふさわしい魅力ある街並みを形成することができ、P & Cに指定した目的が達成されていると考えています。</p>

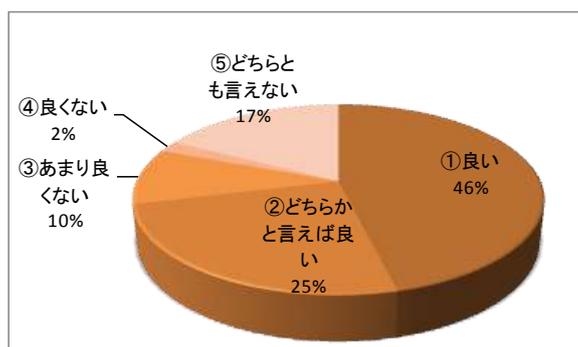
(イ) マスターアーキテクト（デザイナー）の選定

デザイナーの選定理由	デザイナーの選定に対する評価
<p>集合住宅の計画策定の実績が豊富であり、また、実践的にも優れている。</p>	<p>デザインについては上表右欄のとおりで、当該地区に居住する住民から高い評価を受け、魅力ある街並みを形成することができました。</p> <p>このことから、宇品内港地区・宇品西地区では、マスターアーキテクトに期待した豊富な建築計画の経験を生かした実践的な取組ができたと考えています。</p>

イ 景観整備等に関する事後評価

(ア) - 1 優れたデザインについて

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区の建築物や街並みのデザインについて、どのように思いますか。



- ・「良い」又は「どちらかと言えば良い」…71%
- ・「あまり良くない」又は「良くない」…12%
- ・「どちらとも言えない」…17%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

- この家はデザインもよく、モダンな家が建ち、街並みがきれい。
- 今住んでいる市営住宅は開放的なイメージで作っている。
- 家賃が高くなった。高級地区というイメージ。

- この地区に住んでいる人の考え方がそれぞれ違うので、どうしても周辺の景観がバラバラになっている。
- 緑が少ないと思う。大阪の方に住んでいてきれいな街並みを見ているので、あまりおしゃれとは思わなかった。看板などの色は統一感がない。
- 汚い。計画性がないようにしか見えない。

【賞の受賞実績等】

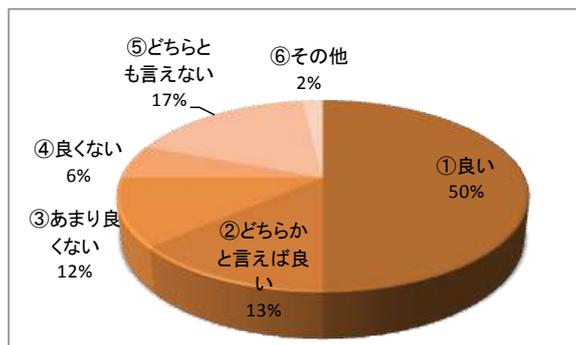
なし。

【まとめ】

宇品内港地区・宇品西地区の建築物や街並みは、アンケート回答者の71%が肯定的な評価をしており、優れたデザインであると考えています。

(ア)－2 優れたデザインについて

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区では、魅力ある街並みを整備するため、一人の建築家の監修の基に一貫した方針で街づくりを進めてきました。こうした手法についてどのように思いますか。



- ・「良い」又は「どちらかと言えば良い」…63%
- ・「あまり良くない」又は「良くない」…18%
- ・「どちらとも言えない」又は「その他」…19%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

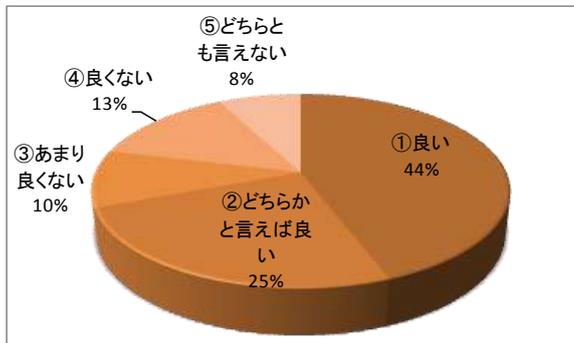
- マスターアーキテクト方式は個人的な主張が増えすぎず、一貫して良い。
- マスターアーキテクトは一人じゃなくてもよいが、グループでも良いので一貫してやると美観が良くなる。
- 一人のマスターアーキテクトより、みんなで話し合っただけの方がもっといい案が出る。
- 街並みの整備等をする前に、住んでいる人の意見、情報収集してから進めてほしい。

【まとめ】

宇品内港地区・宇品西地区において、マスターアーキテクトの監修のもとに一貫した方針で街づくりを進めていく手法について、アンケート回答者の63%が肯定的な評価をしていました。

(イ) 施設本来の目的達成について

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区は、住んで気持ちの良い緑あふれる街（温暖な瀬戸内海気候と、山や島に囲まれた緑あふれる広島の街の風景に調和し、住んで気持ちの良い街）であると思いますか。



- ・「良い」又は「どちらかと言えば良い」…69%
- ・「あまり良くない」又は「良くない」…23%
- ・「どちらとも言えない」又は「その他」…8%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

- この地区はとても住みやすくなったので、住んでいる人にとっては変わってよかったと思う。
- 昔の方が良かった。便利になった反面不安が増えた。
- 昔静かだただけに今の変化についていけないと近所の方同士で話している。

【まとめ】

アンケート回答者の69%は、宇品内港地区・宇品西地区が住んで気持ちの良い街であると回答しています。一方、そうでないとする回答は23%であり、「昔は静かだった」、「便利になった反面不安が増えた」といった意見がありました。

(ウ) 建設費の妥当性について

調査 同種の施設と比べて建設費が目的を超えて著しく割高になっていないか。

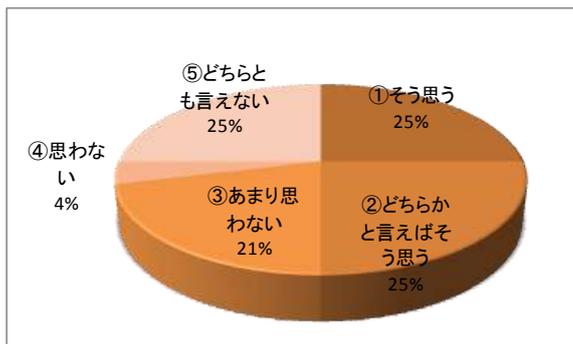
宇品内港埋立地区高層複合住宅整備等は、宇品内港地区・宇品西地区に建築される市民や事業者の方に対し、デザインコントロールによる街づくりを行ったもので、建築物等を整備していないため、工事費に関する比較調査は実施していません。

なお、デザインコントロールに要した費用（業務委託の契約金額）については、次のとおりです。

業務の概要	契約金額	実施年度
・鷹野橋宇品線沿道区域の景観誘導計画の策定 ・宇品西住宅の基本設計に関するデザイン調整 (デザイン調整会議4回、ワーキング6階開催)	2,489万円	平成9年度 (1997年度)
・宇品西住宅実施設計等に関するデザイン調整 (デザイン調整会議2回、調整ワーキング9回開催) ・宇品西地区まちづくり協議会への景観誘導計画の説明 (宇品西地区まちづくり協議会への説明会3回開催)	273万円	平成10年度 (1998年度)
・宇品西住宅と鷹野橋宇品線の施工に関するデザイン調整 (デザイン調整会議3回、調整ワーキング4回、調整連絡会議1回開催)	179万円	平成11年度 (1999年度)
・宇品内港地区・宇品西地区のまちなみデザインガイドラインの作成等	294万円	平成12年度 (2000年度)
計	3,235万円	

(エ) - 1 市民の認知について

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区は、ふれあいのある街（近所づきあい、立ち話やあいさつを交わす親しみやすい街）であると思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…50%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…25%
- ・「どちらとも言えない」…25%

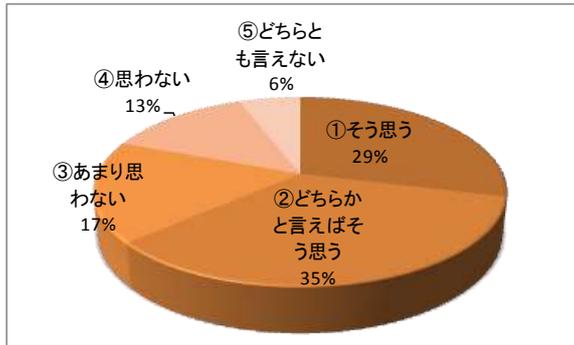
この質問に関しては、具体的な意見がありませんでした。

【まとめ】

アンケート回答者の50%は、この地区が親しみやすい街であると「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しており、そのようには「あまり思わない」又は「思わない」と回答した人は25%でした。また、「どちらとも言えない」が25%でした。宇品内港地区・宇品西地区が親しみやすい街であるかという観点では、半数はある程度評価しているものの、評価にばらつきがありました。

(イ) - 2 市民の認知について

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区は、軽やかでおしゃれな雰囲気のある海の玄関口にふさわしい街になっていると思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…64%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…30%
- ・「どちらとも言えない」…6%

主な具体的な意見（自由回答より）は、次のとおりです。

○ ベイシティーの名前のおりの街並みである。

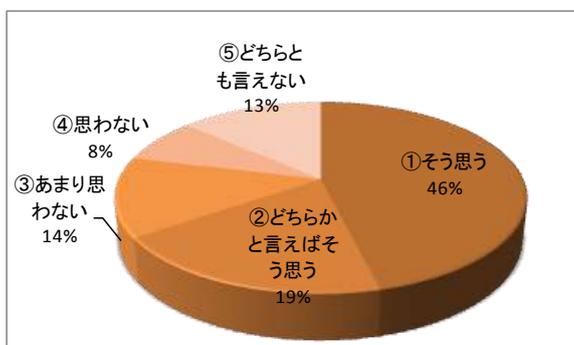
【まとめ】

アンケート回答者の64%は、宇品内港地区・宇品西地区が軽やかでおしゃれな雰囲気のある海の玄関口にふさわしい街になっていると「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は30%、「どちらとも言えない」が6%でした。

このことから、宇品内港地区・宇品西地区が海の玄関口にふさわしい街として認識されていると考えています。

(オ) 良好な景観に対する関心の高まりについて

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区での街づくりがきっかけとなって、景観やまちづくりに対する関心が高まる（高まった）と思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…65%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…22%
- ・「どちらとも言えない」…13%

この質問に関しては、具体的な意見がありませんでした。

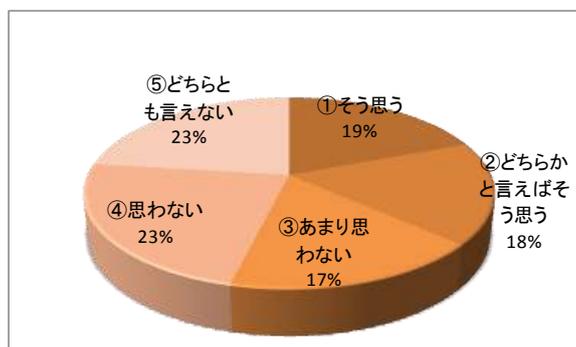
【まとめ】

アンケート回答者の65%は、宇品内港地区・宇品西地区での街づくりがきっかけとなって、景観やまちづくりに対する地域住民の関心の高まりに寄与したと「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は22%でした。

このことから、宇品内港地区・宇品西地区での街づくりは、景観やまちづくりに対する地域住民の関心の高まりに寄与したと考えています。

(カ) 市民活動の活性化等の行動の変化について

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区での街づくりがきっかけとなって、緑化に努めたり、近所の清掃を行ったりなど、地域の景観や環境を良くするために活動する機会や人が増える（増えた）と思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…37%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…40%
- ・「どちらとも言えない」…23%

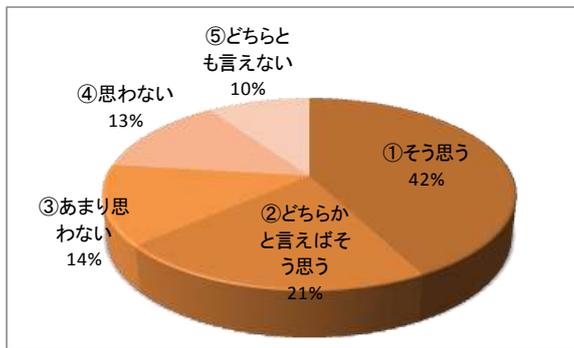
この質問に関しては、具体的な意見がありませんでした。

【まとめ】

アンケート回答者の37%は、宇品内港地区・宇品西地区の街づくりがきっかけとなって地域の景観や環境を良くするために活動する機会や人が増えたと「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は40%、「どちらとも言えない」が23%であり、地域の景観や環境を良くするための活動等の契機として捉えた場合の評価にはばらつきがありました。

(キ) 地域の景観形成や美化推進等について

アンケート 宇品内港地区・宇品西地区での街づくりがきっかけとなって、デザインに配慮した住宅や店舗ができたり、広告看板が美しくセンスの良いものになるなど、地域の景観や環境が良くなる（良くなった）と思いますか。



- ・「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」…63%
- ・「あまり思わない」又は「思わない」…27%
- ・「どちらとも言えない」…10%

この質問に関しては、具体的な意見がありませんでした。

【まとめ】

アンケート回答者の63%は、宇品内港地区・宇品西地区の街づくりがきっかけとなって、デザインに配慮した住宅や店舗ができたり、広告看板が美しくセンスの良いものになるなど、地域の景観や環境がよくなる（なった）と「思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答しています。一方、そうは思わないと回答した人は27%、「どちらとも言えない」が10%でした。

このことから、宇品内港地区・宇品西地区の街づくりは、地域の景観や環境が良くなるための契機として効果があったと考えています。

